様式2

公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	1.(1)
対象事業	道路·街路事業
主要目標	生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上

	対象地区·箇所名	個別事業の妥当性評価				事業間優先度の評価										
優先順位付け		公共関		事業	整備 手法 の性	環境 つの 配慮	事業		貢献度ランクの	評価	副次効果ラ	マ効果ランクの評価		₩/### P A # P	40.4.7.7	÷=:/=:/+===
の考え方		与、争業執行主体の	経済効 率性	事業 実施、 規模 の妥			計画 の熟 度	貢献度 ランク	混雑時走行速度	自動車交通量	副次効果	評点	- 事業問 ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		妥当性		当性	WIT	HU INS	IX.		km/h	台/12h						
	(一)日野春停車場線(鯨パイパス)							b	29	3,195	1	3		-	事業間ランクが であり、同じ主要目標の 事業の中で優先順位が低い。	次年度
	(主)四日市場上野原線(新田)							а	20	4,110	1	3	S	-		実施
	(主)四日市場上野原線(鶴島)							а	20	4,110	1	3	S	-		実施
							ļ									
		ļ														
		<u> </u>				ļ										
				·	<u> </u>	<u> </u>	,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
		<u> </u>				ļ										
実走行速度が遅						1										
く、利用者の多い 区間を優先する。							······									
						<u> </u>										
						<u> </u>										
		- 				<u> </u>										
							s									
						 										
		<u> </u>				*************************************										
								•	{·········			\$				
						<u> </u>										
			•					基準値	30	3,314	基準値	3.0				

副次効果評価調書

主要	目標番	果評価調 号	1.	. (1)				
主要	目標		生活圏中心	a都市·拠点機能へのアクセス向上	主要目標に対 応する副次効 果項目	対象地区·箇 所で想定され る副次効果	評価の説明	評価結果
評価	対象地	区·箇所名	(一)日野着	・停車場線(鯨バイパス)	未発口	SHI/A/JA		
		- 1.交通の利便性の		(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
				(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのア クセス向上				
		向上		(3) 市街地内の交通の円滑化				
	÷			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上				
	県民			(1) 森林機能の維持・向上				
	生活の			(2) 憩い空間の創出				
	豊			(3) 生活排水処理機能の向上				
	かさと経	- 2 生活	環境の向上	(4) 良好な市街地空間の確保				
	済	2.12/2	ACC-96-071-3-12	(5) 適正な居住空間の確保				
	の発展を							
	を支			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
	支える基			(7) 道路景観の向上				
	基盤充			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の 向上				
主要	充実			(2) 農業生産力の向上				
主要目標項		- 3. 農林 興	水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上				
項目				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
				(5) 森林整備の効率化				
				(4) 半年本等のウム州のため				
				(1) 歩行者等の安全性の確保				
	· #	- 1 . 交通 向上	の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保			危険度 (落石等):要対策、要監視箇所あり (橋梁等):横梁等耐震・耐荷末補強 損傷度等(落石等):通行にか なし (橋梁等):対策区分 C判定	2
	6	132					緊急輸送道路の指定:なし 自動車交通量 3,195台/12h<3,314台/12h以上(平日) 評価基準値	
	らしと経済活			(3) 都市災害防止				
	済 活			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
	動の	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(1) 洪水被害の防止				
	安全性			(2) 土石流被害の防止				
	確保			(3) 崖崩れ被害の防止				
				(4) 地滑り被害の防止				
		2 🛱 🛱	独宝の除止	(1) 鳥獣被害の軽減				
		- J . ha en	1	ナル機能の強化				
	交通利	J便性	アクセス機					
				イントの解消				
			水質の浄化	<u> </u>				
			大気汚染の					
			騒音・振動 良好な景観					
			バリアフリー					
	生活環	境	ライフライン					
			身近な緑地	・交流の場の提供				
			飲雑用水の					
			糞尿の処理					
				ど·学習等活動の支援 				
副次効	ph. 5	- L#	水源涵養機					
効果項	自然環	現現	生態系空間	の再生				
項目		-		焼遮断帯の確保				
	古北	《中卧上		登難·救助機能の確保			避難路の確保	1
	→ M.	事故・災害防止 被災時の被		を表現及の防止 				ļ
			走行安全性					
			林業生産力					
			遊休農地の					
	生産性	Ė		用地の創出				ļ
			農地の保全					-
			農林産物の 自然エネル	リ販売促進 ・ギーの活用				
			リサイクル					<u> </u>
	その他	1	文化·歴史	的資源等の保存・復元				
			他事業との					
			重要プロジ	ェクトとしての位置づけ	<u> </u>		京は かみ 本	
							副次効果 評点合計	

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に。 "が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に。 "を記入、「評価の説明・欄に具体的な評価内容を記入する。 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクはに該当するものは2点、ランクは以下の場合は1点とする。

副次効果評価調書

	目標番目標	15		.(1) 心都市·拠点機能へのアクセス向上	応する副次効	対象地区·箇 所で想定され	評価の説明			
		区·箇所名		E)四日市場上野原線(新田)	果項目	る副次効果		評価結		
	· 県	- 1 . 交通 向上	通の利便性の	(1) 名活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 (2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 (3) 市街地内の交通の円滑化 (4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス						
	民生活			(1) 森林機能の維持·向上 (2) 憩い空間の創出						
	の豊か			(3) 生活排水処理機能の向上						
	خ د	- 2. 生活	5環境の向上	(4) 良好な市街地空間の確保						
	経済の			(5) 適正な居住空間の確保						
	発展を			(6) 歩行者等の通行空間の確保						
	支			(7) 道路景観の向上						
主	える基い			(1) 中山間地域等の農村生活·生産機能 の向上						
要目標	盤充実			(2) 農業生産力の向上						
標項目		- 3.農材 興	林水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上						
н				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
				(5) 森林整備の効率化			正信本, 白配市方道量, 400 Δ (40) (100) LN 3 1 - 2 1 7 (40) III			
				(1) 歩行者等の安全性の確保			歩行者・自転車交通量:123人台/12h(H22セ)サス) > 71人台/12h以上 自動車交通量:4,110台/12h(H22セ)サス) > 3,314台/12h以上 通学路の指定:あり(島田)・学校 現況の歩道幅員:なし<1.4m未満	2		
	暮	- 1.交通 向上	通の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保						
	らしと			(3) 都市災害防止						
	経済			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上						
	活動の	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(1) 洪水被害の防止						
	安全性			(2) 土石流被害の防止						
	確保			(3) 崖崩れ被害の防止 (4) 地滑り被害の防止						
		- 3 . 農業	t被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減						
				` ^ ナル機能の強化						
	交通利	交通利便性アクセス機								
		主要渋滞が水質の浄化		パイントの解消 K						
			大気汚染の							
			騒音・振動 良好な景権							
				- 化の促進						
	生活環	生活環境 ライフライン								
				也·交流の場の提供 						
	-			と·学習等活動の支援						
副次	水源汤		-	D円滑な提供 機能の向上						
効果で	自然環境 生態系語		生態系空間							
項目				焼遮断帯の確保 避難·救助機能の確保						
	事故:			要害波及の防止						
	-			D崩壊危険性の排除						
			走行安全性 林業生産力					1		
			遊休農地の							
	生産性	-		は用地の創出						
			農地の保全	È D販売促進						
			-	デーの活用						
	その他	h	リサイクル							
	-c·0/10	5	火化・歴史 他事業との	的資源等の保存·復元)一体施工			上野原駅南口周辺土地区画整理事業(仮称)	1		
			重要プロジ		1	i	1	1		

副次効果評価調書

主要「	目標番	号	1	. (1)	主要目標に対	対象地区·箇		
主要目		豆 無氏々		が都市・拠点機能へのアクセス向上	土安日標に対応する副次効 果項目	所で想定され る副次効果	評価の説明	評価結果
泮1四>	的歌地	区·箇所名	(土)四日市	7場上野原線(鶴島) (1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上				
		- 1.交通の利便性の 向上						+
				(2) クセス向上				-
				(3) 市街地内の交通の円滑化				ļ
	· 県			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上				
	民生活の			(1) 森林機能の維持・向上				
	活の			(2) 憩い空間の創出				
	豊かっ			(3) 生活排水処理機能の向上				
	さと経済	- 2.生活	環境の向上	(4) 良好な市街地空間の確保				
				(5) 適正な居住空間の確保				
	の発展を			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
	を 支			(7) 道路景観の向上				1
	支える基			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の 向上				
主	盤充							+
主要目標	実	- 3 . 農林	水産業の振	(2) 農業生産力の向上				-
項		興	小正無の脈	(3) 農業用排水能力の向上				-
目				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				1
				(5) 森林整備の効率化				
		4 -		(1) 歩行者等の安全性の確保			歩行者・自転車交通量: 123人台/12h(H22センサス) > 71人台/12h以上 自動車交通量・4,110台/12h(H22ヒンサス) > 3,314台/12h以上 通学路の指定・指定あり(島田小学校) 現況の歩道幅員: なし < 1.4m未満	2
	暮	- 1.交通 向上	の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保				
	らしと経済活			(3) 都市災害防止				
	経済			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
	動	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(1) 洪水被害の防止				
	の 安 全			(2) 土石流被害の防止				
	性							
	確 保			(3) 崖崩れ被害の防止				
				(4) 地滑り被害の防止				
		- 3.鳥獣	1	(1) 鳥獣被害の軽減				
			交通ターミ: アクセス機	ナル機能の強化 				
	又 四 个	JEIT		能の編19 ペイントの解消				-
ı			水質の浄化					
			大気汚染σ)軽減				
			騒音·振動					
			良好な景観 バリアフリー					ļ
	生活環	讀	ライフライン					1
				・交流の場の提供				
			飲雑用水の					
		糞尿の処理						
				ど·学習等活動の支援				ļ
副次			各種情報 (7. 水源涵養機)円滑な提供 #能の向 F				+
次効果項	自然環	境	小源函食物					+
項甲				焼遮断帯の確保				
目			緊急時の過	達難・救助機能の確保			緊急輸送路の整備	1
	事故·	災害防止		捜害波及の防止				1
)崩壊危険性の排除 ・の球児				
}			走行安全性 林業生産力					
			遊休農地の					
	生産性		新たな公共	用地の創出				
			農地の保全					ļ
ļ			農林産物の					
				ガーの活用				ļ
	その他		リサイクル(の推進 的資源等の保存·復元				+
ļ	CVIE	•	他事業との					+
					ļ		1	+
			重要プロジ	ェクトとしての位置づけ				

注1) 「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に。 "が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に。 "を記入、「評価の説明・欄に具体的な評価内容を記入する。 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクsに該当するものは2点、ランクb以下の場合は1点とする。